2019年度水俣フォーラム 事業報告

2019 年度は東京では 4 年ぶりとなる水俣病記念講演会を 4 月に開催し、5 年ぶりとなる水俣病大学を 5 月から 2 ヶ月にわたって明治大学で開講した。水俣病記念講演会は、患者をはじめとした水俣に関連する講演をじっくり聴ける機会として定着した感がある。水俣病大学は、受講人数を倍増させることを目的に、申込方法の簡素化を図るとともに学費を半額にしたが、受講申し込みは 30 %増にとどまった。水俣病事件を体系的かつ全領域にわたって学べる講座として、受講者、水俣病関係者、メディアなどからは高い評価を受けているが、次期開講の際には受講者増のために一層の工夫と努力が必要と認識している。運営に関することでは、水俣フォーラムの永続的な活動のために、NEWS発行の際に遺贈寄付の依頼と常勤職員募集の案内を同封し、いずれにも問合せおよび応募があった。福岡展は 2020 年 12 月の開催に向け、1 月からサポーター会議を開始した。多数の参加者で活況を呈したことから、今後の広がりを実感していたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、3 月の会合からは中止せざるを得なくなった。年度末には、来年度の記念講演会の中止を決定するなど、水俣フォーラムの活動も大きな影響を受けているが、こうした状況の下でも会員・会友の協力を得ながら、来年度の活動に臨みたい。

1. 水俣病公式確認60年記念事業

- ①展示物のリニューアルと新規制作(2020年完成予定)
- ②水俣展全図録の編集(2020年発行予定)
 ※ 新型コロナウイルスの影響によりいずれも延期の見込み

2. 水俣展

- ①福岡展の開催準備(2020年12月~2021年1月、福岡アジア美術館)
- ②首都圏展の開催準備(2022年の会場の絞り込み)
 ※ 新型コロナウイルスの影響によりいずれも延期の見込み

3. 講演会開催

①記念講演会

第 17 回の開催 (4 月 7 日、有楽町マリオン朝日ホール、朝日新聞と共催、515 名) 第 18 回の準備 (20 年 4 月 29 日、福岡・エルガーラ、グリーンコープ・西日本新聞と共催) ※ 新型コロナウイルスの影響により第 18 回の中止を決定

②水俣セミナー 2回開催、1・2月、81名、常円寺 ※ 3月に予定していた南部篤セミナーは延期

4. 水俣病大学

①第Ⅲ期開講(5月11日~7月6日、明治大学、30コマ) 学生12名(うち9名に水俣病教育指導員の資格授与、3名に修了証)、聴講生122名

5. 機関誌発行

①水俣フォーラムNEWS 1回発行、12月、3600部

6. その他の事業

①水俣病ライブラリーの整理(書籍、映像、写真、音声)

7. 総会・理事会・運営委員会

- ①総会 6月16日、出席者33名、表決委任者438名(正会員912名)
- ②理事会・運営委員会 理事会1回、合同運営委員会7回、出席率86%

8. 事務所機能向上のための取り組み・運営基盤整備

- ①遺贈・相続財産寄付依頼 NEWSとともに 12 月に 3175 通発送、問合せ数件
- ②常勤職員募集 同上、応募2件
- ③東京都より認定 NPO 法人としての認定通知書受領 (期間:2019年10月9日から5年)
- ④旧展示物を含む倉庫の整理と各種制作物・資料の廃棄 12月6・7日、14名参加

9. 助成、補助金、表彰

①賀川豊彦賞、100万円(落選)